

経営比較分析表（平成29年度決算）

兵庫県 小野市

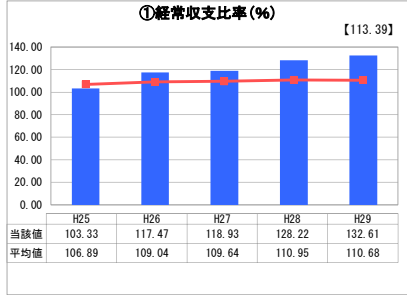
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	91.10	100.00	2,700	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
48,941	92.94	526.59
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
48,890	82.92	589.60

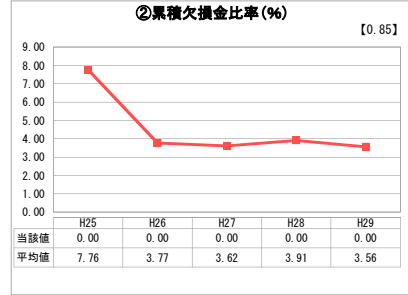
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

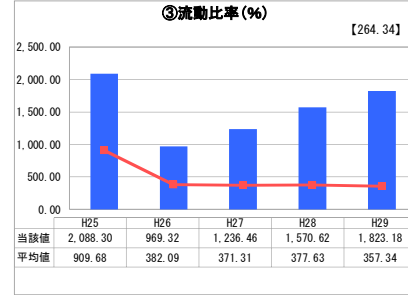
1. 経営の健全性・効率性



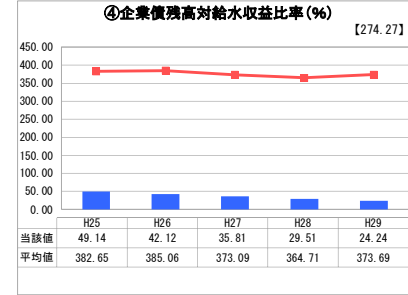
「経常損益」



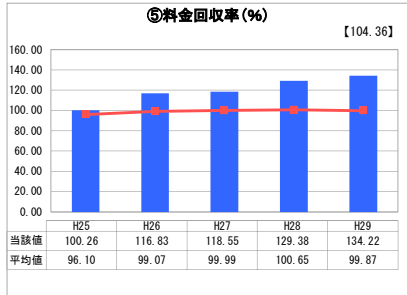
「累積欠損」



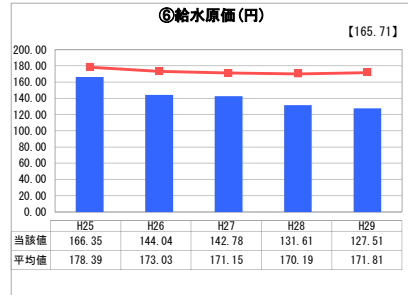
「支払能力」



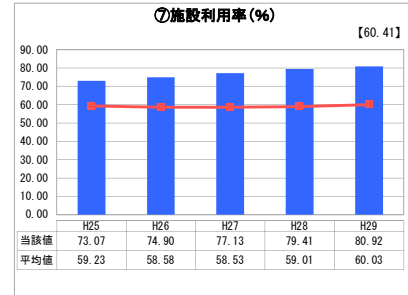
「債務残高」



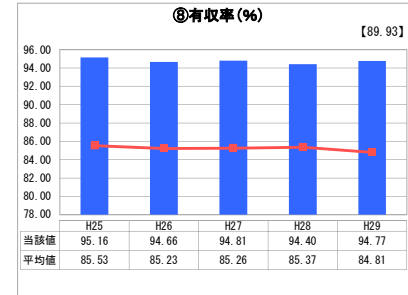
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

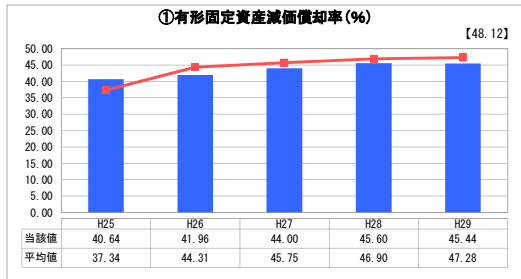


「施設の効率性」

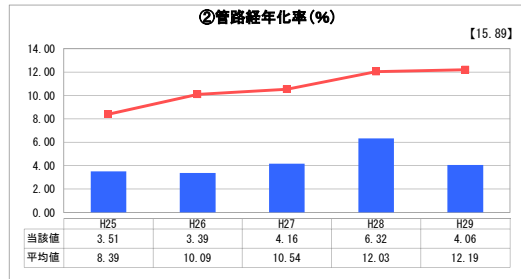


「供給した配水量の効率性」

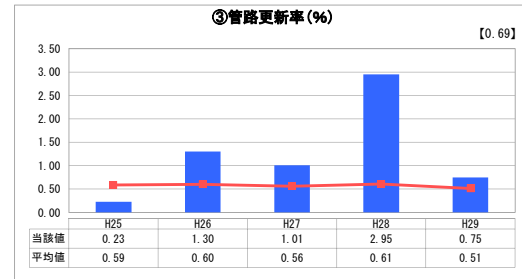
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
類似団体平均値を上回り、良好である。引き続き将来を見据えた計画的な財政運営を実施していく。

② 累積欠損比率
数値はゼロ値が続いている。今後の水道事業計画に基づき、施設規模の見直しや延命化等、経費節減に向けた取り組みを実施していく。

③ 流動化比率
短期貸付金等による流動資産の増加、未払金の減少による流動負債の減少により、昨年度と比較し、数値は上昇している。

④ 企業債残高対給水収益比率
平成15年度以降起債がないこと、過去に繰上り償還を実施したことにより、平均を大きく下回っている。

⑤ 料金回収率、⑥ 給水原価
「料金回収率」は類似団体平均値より上回り、「給水原価」は類似団体平均値より下回っているが、今後の施設更新費用の財源確保のため、現行の料金体制を維持する必要がある。

⑦ 施設利用率
類似団体と比較して数値は高い。効率的な運転ができており、給水に支障はない。

⑧ 有収率
効率的な漏水調査の実施により、類似団体より高い有収率を維持できている。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
類似団体より、施設の老朽化は若干遅くなっている。

② 管路経年率
類似団体と比較しても数値は低く、計画的な管路の更新を行っている。

③ 管路更新率
管路の優先順位に基づいた更新を行っているため、更新率は年度ごとに大きく変動している。平成29年度の管路更新率は類似団体と比較して高いものとなっている。これは、平成26年度から布設した管の供用開始をもって一括計上したため、急増したものである。管路の更新については計画に基づき適切に行っている。

全体総括

財政基盤は良好で、施設、管路の更新も計画的に行われている。

一部企業の給水量の増加による収益の増加はあるものの、人口減少に伴う給水収益の減少、配水池及び配水管等の改修工事等による経費の増加が見込まれ、厳しい財政運営が予測される。

安全で安心な水を常に安定して届けることができる事業運営を行うため、経営戦略及び投資・財源計画に基づいた計画的な施設の更新、更なる経費の削減に取り組んでいく。

また、次年度以降はアセットマネジメント計画を作成し、施設規模の見直しや延命化など、安定した水道事業の運営に取り組んでいく。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。